

## 総務局

局長 関根 将男

### 【基本方針】

- 5      こだま青年会議所は昨年創立50周年を迎えることができました。これはこだま地域に情熱を注ぎ、明るい豊かなまちづくり運動を行いながら、地域と共に歩み続けてきた先輩諸兄弟のご努力の賜物です。我々が日々運動を行えるのは、先輩方や関係諸団体及び地域の皆様のご理解、ご協力があってこそです。当会議所はここ数年卒業生の多い年度が続き、各委員会の垣根を超えた連携と年次の浅いメンバーの活躍が益々重要となっています。しかし、参加できるメンバーに偏りが
- 10     生じている大きな課題があります。これは縁あって入会したものの、青年会議所に所属している本当の意義が組織全体で共有できていないためと考えます。青年会議所は目的意識を共にする仲間と事業を通じ様々な経験をすることで、ひとり1人が資質向上、自己修練できる場です。世代の近い仲間達と同じ目的に向かって運動を行うことは、他では得られない経験・財産になります。そこで、総務局は例会を通じ、入会歴の浅いメンバーを巻き込み、各委員会との連携に力を入れることで、
- 15     結束力を強める行動をして参ります。そしてその行動こそが、当会議所を次の世代に繋げることだと確信します。また、総務局には総会・諸会議の設営・運営及び財務管理という重要な役割があります。効率的な会議運営を行い、各事業が円滑に遂行できるよう各委員会へ積極的に協力を申し出ていき、横の連携を強化していきます。財務については、運動を支えるのはメンバーからお預かりする年会費や賛助会員の皆様の想いであることを強く意識し、財務理事を中心に厳格な管理を
- 20     して参ります。

1月例会では新年名刺交換会を開催します。こだま青年会議所は設営のこだまと言われます。その伝統を大切に、お世話になっている皆様へ、礼節を重んじ感謝の想いをしっかりお伝えできる設営を行い、理事長の掲げる本年度の基本理念・基本方針・スローガンを発表します。本例会を共通した感謝の想いで、入会歴の浅いメンバーを巻き込み一丸となって行うことで、組織全体の達成

25 感が得られ、各委員会の結束力も強まります。更には、こだま青年会議所の情熱をお伝えすることができ、1年間事業を行う上で必要不可欠となる皆様からのご理解、ご協力をいただくことができます。

4月例会では、外部講師をお呼びして、改めて青年会議所運動の意義や目的を学ぶことのできる研修例会を行います。研修を通じ、特に入会歴の浅いメンバーは、運動に参加する意義・目的を  
30 学ぶことができます。更には、LOM全体で共有することで、組織全体の結束力の強化になると考えます。

結びに、卒業メンバーが多い年度が続くなか、今まで以上にメンバーが助け合い協力し合うことは大切です。総務局は組織の要として、規律ある総会・各種会議のスムーズな運営・設営を確実に  
35 行うとともに、全員の繋ぎ役として組織全体の結束力を強くし、資質向上に繋がる運動を1年間全力で行って参ります。

#### 【事業計画】

- 1 1月例会の開催
- 2 通常総会(1月・9月・12月)の開催
- 40 3 2月深谷JC例会への参加企画・交流
- 4 4月例会の開催
- 5 諸会議の設営・運営、備品・記録の管理
- 6 ホームページの運営・管理
- 7 財務管理、公益関係の対応
- 45 8 議案事前審査会の開催

9 OB会の事務局

10 オープン委員会

【事業予算】

270,000 円